



2023年6月号
愛宕けいあい保育園

子どもが小さいころ、毎晩、一人一冊ずつ好きな絵本を持ってきて寝床で読むのが寝る前の習慣でした。どんな絵本を選んでくるのかはその日の子どもの気分ですが、私からすると“なんでこの本がこんなに好きなのかな”と不思議に思う本もありました。子どもが大きくなるにつれ、長めのお話を選んでくるようになり、途中でウトウトしてしまい「母ちゃん 寝らんで！」と言われたこともあります。長いお話は少しずつ、続きは明日…。読んだ後は「おーしーまい。おやすみ」と電気を消す毎日でした。上の子が小学生になっても低学年ぐらいまでは続けていたと思います。寝る前に自分たちで本を読むようになって終えたでしょうか。忙しくてやらなくちゃいけない家事もある。持ち帰ってきた仕事もある。早く寝てほしくて焦る夜もたくさんありました。そんなことを、子どもたちがどう覚えているのかはわかりませんが、本が好きでいてくれました。

実家には50年以上前に幼稚園で購読をしていた絵本があります。今も変わらず読み親しまれている絵本もあります。好きだった本のページ（子どもたちがお弁当を広げて笑顔で食べているシーン）があり、引っ張り出してはその頁を眺めていたことを覚えています。

絵本の重みや紙質、一冊一冊違いがあります。短い時間でも、お父さんやお母さん、安心できる声に包まれる時間は、自分は愛されていると感じることができる時間になるでしょう。勇気をもらう絵本、やさしさに触れる絵本、ことばの響きを楽しむ絵本、道徳的な絵本、いろんな本がありますが、大好きな人に読んでもらうという時間もまたかけがえのない時間です。皆さんはどんな絵本の思い出がありますか？

行事予定

- | | |
|-------|--------------------------|
| 15（木） | 歯科検診（9：30～）
尿検査（4・5歳） |
| 21（水） | 子育てサークル |
| 22（木） | 避難訓練／身体測定 |
| 23（金） | 誕生会／職員会議 |

うた・雨降いくまのこ

おやまに あめが ふりました
あとから あとから ふってきて
ちょろちょろ おがわが できました

いたずら くまのこ かけてきて
そうっと のぞいて みてました
さかなが いるかと みてました

なんにも いないと くまのこは
おみずを ひとつち のみました
おてでで すくって のみました

それでも どこかに いるようで
もいちど のぞいて みてました
さかなを まちまち みてました

なかなか やまない あめでした
かさでも かぶって いましよう
あたまに はっぱを のせました

保育士の

～私の一冊～

「ほくのかえいみち」

作 ひがし ちから
男の子なら皆やったことがある
下校中の様子です。子どもならではのドキドキやワクワクがあり、“こんなことやったな”と懐かしくなる絵本です。大人になった今でも、実はやってることがあるな～と楽しくなります。

「ともだち」

文 谷川 俊太郎 絵 和田 誠
ともだちってどういう人？というのを大人になってもこの絵本を通して改めて考えることができ、これからたくさんの人に出会う子ども達にとっても“ともだち”のありかたさを一緒に考えることができる素敵な絵本です！

「おおきくなるってことは」

文：中川ひろたか絵：村上康成 童心社

育児真っ只中にこの本と出会い、本の内容が目前にいる我が子と重なり「大きくなったな」と実感させてもらえた本です。是非一度手に取って読んでみてください。

「へいわってどんなこと？」

作：浜田 桂子 童心社
ウクライナとロシアの戦争がきっかけでこの本を知りました。難しいことはまだわからないかもしれませんが、平和とはどんなことや、平和の大切さについて考えたときに読みたい一冊です。

「パパ、お月さまとって」

作 エリック・カール 訳 もりひさし
幼いころに読んでもらい記憶に強く残っている絵本です。パパが子どものためにお月さまを取ろうとする姿が素敵です。絵本の形をはみだしているページもあるため、ページををめくる度にワクワクした気持ちで最後まで楽しめます。

「はくしゅばちばち」

作 中川ひろたか 出版社 ひかりのくに

はくしゅやまねっこが上手になってきた子どもたちに読んでみると、絵本を見ながら真似て、お友だちと笑っている姿がとっても可愛くて私自身も大好きになった絵本です。

「だれかほくをぎゅっとして！」

作・絵：シモーナ・チラオロ

訳：おびか ゆうこ 徳間書店

サボテンのサボタの“ぎゅっと抱きしめてほしい”という思いを応援したくなり、最後は心がほっと温まる絵本です。可愛いサボテンがたくさん出てきて、大好きな絵本です！

「だるまん」シリーズ

作 かぐいひろし・ブロンズ新社

子ども達にもわかりやすい、繰り返しのフレーズで、保育士が絵本を読んでいる時の子どもたちの反応がすごく可愛いくて、大好きな絵本です。

「まじょのすいぞくかん」

作 佐々木マキ

子どもの頃に大好きで何度も読み聞かせをしてもらった思い出の絵本です。女の子が魔女の水族館へ迷い込み、様々な魚に出会う物語で、絵本は、大切に保管していて、今では保育園の子どもたちに読み聞かせをしています。

「めっくらもっくら」

作 長谷川摂子 絵 ふりやなな

出版社 福音館書店

私も子ども達も大好きな絵本です。3人の妖怪たちと楽しく過ごす主人公が羨ましく、読んでいても、見てもワクワクする一冊です。絵本の中に出てくる不思議な呪文も子ども達は大好きです！

「こんとあき」

作・絵 林明子

林明子さんの絵本が大好きで、その中でもお気に入りの一冊です！大人になったいまでも絵本を開くと「わたしの傍にもこんがいてくれたらな」と子どもの頃を感じていた想いが、よみがえってきます。

「ぎゅっ」

作・絵ジェズ・オールバラ 徳間書店

30年以上前、幼稚園で勤めていた時に見つけた春日原駅前に今もある「エルマー」という小さな絵本屋さん。店主に選んで貰う絵本はどれも子どもたちの心に響く絵本ばかり。この本は「ぎゅっ」しかセリフのない絵本。子ザルのジョジョの表情だけで心の動きを追っていきます。セリフが無いのに、絵だけで子ザルの心情を読み取る子どもたちの感性の豊かさに触れることのできる瞬間でもあります。

※ 入り口前のテーブルに絵本を展示しますので是非、手に取ってご覧ください。



★きなこスパ

今月は、お子様に人気な手作りおやつをご紹介します。

材料・作り方

スパゲッティかマカロニー→適量

きなこ砂糖→お好みで

塩→ひとつまみ

①スパゲッティを湯がく。

②きなこ、砂糖、塩を混ぜ合わせたものを和える。

※離乳食のお子様には砂糖は使用せず、きなこの素材の味だけで大丈夫です。ぜひご家庭で作ってみてはいかがでしょうか？